



日本包装専士会 Institute of Certified Packaging Professionals, Japan

平素は日本包装専士会へ格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。去る5月27日、包装関連4団体の代表を来賓に招き、定期総会を開催しました。今年は閉会後に講演会を行いました。講演会開催で出席者が増えたこともあり、議案審議だけでは感じられない、これまでとは違う手応えがありました。

環境対応、省資源化、リサイクル性向上や食品ロス削減など、包装には社会課題の解決に必要な「包む」機能を超えた価値が求められ、包装専士を始め包装の関係者には材料、加工、物流、環境など幅広い知見をもとに、求められる価値の創出が期待されています。そのため専士会が果たすべき役割は数多くあり、会員相互の交流や情報共有の場として、価値ある活動を進める必要があると考えます。

本年はTOKYO PACK 2026開催年です。出展に向け専士会は2018年から継続する「包装の未来予測」の公表と関連セミナーの企画、「包装の歴史年表」の改訂に取り組み、包装実務者向けのテクニカルセミナーへ講師を派遣します。これまでと同様に専士会の活動に対し包装専士を始め包装関係者各位のご支援をお願い申し上げます。

日本包装専士会 会長 嶋 雅文

総会講演会および懇親会

定期総会終了後、安原明世 新特別理事から「包装の品質とロス」に関する報告があり、続いて3名の講師による講演（以下の講師と演題）が行われました。園山JPI専務理事には6月ご退任の前に無理をお願いして、ご講演をお引き受けいただきました。講師の方々からは海外を含む包装業界の動向や専士会活動の紹介があり、そのあとの懇親会にて多くの出席者で相互交流を深めました。

講師 日本包装専士会理事 缶詰技術研究会 橋本香奈
演題 「インターパック2026 視察速報」

講師 日本包装専士会理事 三菱商事パッケージング株式会社 島田賢一
演題 「未来包装研究委員会の活動と学生との取り組み」

講師 公益社団法人 日本包装技術協会 専務理事 園山洋一様
演題 「JPI催事から見た包装のトピックス」

園山講師の講演



懇親会

